

# 流通とSC・私の視点

2009年1月23日

視点(1036)

モールのパターン!!

SCのモールには次のタイプがあります(六車流：流通理論)。

## (1) 第1のモールのタイプ

タイプ	内 容
ギャラリー型モール (アトリウム型モール)	大空間と快適性とエンターテインメントが融合したモールであり、モールの固有の特性が発揮できる
ストリート型モール (大通路型モール)	通路の拡大型のモールであり、専門店街の比較購買は強いが、モール本来の固有の特性はやや低い
館型モール (中通路型モール)	核店と専門店街が売場や商品の比較購買を目的とした通路であり、買物中心センターとして買いやすい
店内型モール (狭通路型モール)	商品と商品の比較購買と連続性を目的とした店内通路
ビレッジ型モール (長屋型 or 村落型モール)	オープンエアモールで、長屋タイプあるいは、村落タイプのSCのモール
まちづくり型モール	面的かつ散策的タウンセンター風のSCのモール
アレイ型モール	小径タイプの横道文化を持ったモール
プロムナード型モール	遊歩道型モールであり、歩くことが楽しいモール

## (2) 第2のモールのタイプ

タイプ	内 容
エンクローズドモール	建物内の全天候型のモール
オープンエアモール	建物外の自然と一体化したモール
ハイブリッドモール	エンクローズドモールとオープンエアモールの融合したモール

## (3) 第3のモールのタイプ

タイプ	内 容
水平モール(Horizontal mall)	平面的に広がりを持つモール
タテ型モール(Vertical mall)	立体的に広がりを持つモール
周遊モール(Circuit mall)	循環型の一周に広がりを持ったモール

## (4) 回遊の基本原則

	内 容
導入・導出	客のSC内での行動の出発点と最終点である ①入口 ②出口 ③鉄道の駅、バスストップ(ターミナル) ④駐車場
回 遊	客がSC内で行動する範囲のルートである ①モールのタイプ ・水平モール(横に展開するモール) ・タテ型モール(高層商業施設の縦に展開するモール) ・レストラックモール(客の回遊を循環型にするための楕円形モール) ②モールの性格 ・遊楽ウォーク(時間消費型ウォークのモール) ・利便ウォーク(時間節約型ウォークのモール)
マグネット	客がSC内で魅力を感じて集中し、周辺に波及する核である ①百貨店、GMS、SMの総合業態 ②スペシャリティ百貨店(5,000~30,000 m <sup>2</sup> ) ③メガストア(1,500~3,000 m <sup>2</sup> ) ④マグネットストア(500~1,000 m <sup>2</sup> ) ⑤ワールド化した売場(クラスター売場) ⑥フードコート、アミューズメントのエンターテインメント
滞 留	客がSC内で憩いの場またコミュニティの場となる空間である ①コミュニティスペース ・ラウンジ機能(待ち合わせ、休憩機能、井戸端会議機能) ・インフォメーション機能(情報やモニター機能) ・広場機能 ②カフェ ・ドリンク(コーヒー、紅茶、その他飲食) ・オリジナル軽食(自慢軽食) ・アメニティー&異次元空間 ③レストスペース(ベンチ、テーブル等) ④ミニ公園(ミニ植物園、ミニ動物園、プラザ等)

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>13</sup>

代 表 六 車 秀 之